

BW-9000 Series

設定マニュアル

AIMEX Corporation

マニュアルに関する注意

- 1.本書の内容に関しては、予告無しに変更する場合があります。
- 2.本書の全部又は一部を無断で複製することは出来ません。
- 3.本書内に記載されている製品名等は各会社の商標又は登録商標です。
- 4.本書内において、万一誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- 5.運用した結果の影響につきまして、一切責任を負いかねます。
- 6.バーコードを印刷する時は高解像度にて印刷して下さい。バーコードの比率が変わり読取りに影響する場合があります。
- 7.ファームウェアのバージョンにより設定出来ない機能があります。

目次

1. はじめに	1
設定方法	1
設定の流れ	1
FAQ	2
2. パラメータ設定	3
初期化及びインターフェース	3
P S / 2 ・ U S B	4
R S - 2 3 2 C	5
3. 機能設定	7
4. シンボル設定	11
JAN/EAN/UPC	11
CODE39	14
Interleaved2of5	15
Codabar/NW-7	16
CODE128	17
CODE93	18
GS1 DataBar	19
5. データ編集	21
プレアンブル/ポストアンブル	21
CodeID設定他	22
6. GS1-128特殊設定	24
7. ASCIIコード	28
8. AIID	34

1. はじめに

設定方法

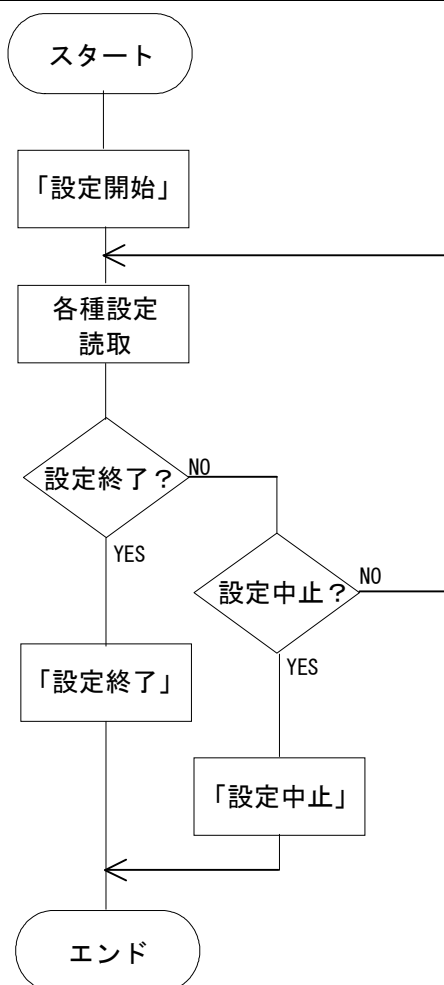
すべての設定を読み取った後に設定終了を読み取ることにより不揮発メモリに記録されます。設定方法は以下の手順です。

- 1) インターフェースを参照して、ホストとスキヤナのオプションを設定してください。
- 2) 出力を参照して、スキヤナの詳細な設定(走査方法や省電力等)してください。
- 3) シンボルを参照して、各バーコードの種類毎に読み取りの許可やチェックデジットの有無等の設定を行ってください。
- 4) データ編集を参照して、データに付加するデータ(プレアンブル、ポストアンブル等)の設定を行ってください。
- 5) 指定範囲の設定は以下の手順で行います

- | | |
|-------------|-------------------------|
| i) 設定開始 | 設定開始 |
| ii) 設定 | 桁数、Code ID 等の設定開始 |
| iii) データ⇒保存 | ASCII コードを参照しデータと保存を読み取 |
| iv) 設定終了 | 設定終了 |

- ➡ 設定が間違えている場合には警告音を鳴らします。再度確認して設定を続けてください。
- ➡ 正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。

設定の流れ



FAQ

Q:データの後の改行は必要ありません。

A:キーボードインターフェース、USB インターフェースの終端データを`[なし]`に設定してください。

Q:1桁のバーコードを読み取りたい。

A:4.シンボル設定を参照して最小コード長を`[01]`に設定してください。

Q:不明なデータを読み取りました。何のデータかを知りたい。

A:22ページのコード名を出力する設定で`[付加する]`を設定し再度データを読み取ってください。データとコード名が出力されます。必要であれば、4.シンボル設定を参照してチェックデジットの確認を`[チェックする]`に設定してください。

Q:バーコードによるファンクションキー入力をしたい。

A:この設定はキーボードインターフェースのみ有効です。1ページを参照しファンクションキー出力設定を`[使用する]`にしてください。また、ファンクションを出力するには、28ページからのASCIIコード(00₁₆から1F₁₆まで)がデータの中に存在する必要があります。

●正常に動作しない場合は販売店にご連絡ください。



2. パラメータ設定

初期化及びインターフェース

【初期化】

全ての設定を初期設定値(枠付太字)に戻します。

初期化



【インターフェース】

使用するインターフェースに設定します。USB VIRTUAL COMで使用する場合デバイスドライバが必要となります。必要な方は販売店まで御連絡ください。

RS-232C



PS/2 (キーボード)



USB (キーボード)



USB (VIRTUAL COM)



【その他】

バージョン情報: ソフトウェアのバージョンを出力します。保守時に参照します。

設定中止: 設定を中止して通常の状態に戻ります。設定途中の場合設定は破棄されます。中止する場合は**設定終了**を読み取る前に**設定中止**を読み取ってください。

バージョン情報



設定中止



設定終了





PS/2・USBキーボードインターフェース

【ファンクションキー出力】

ファンクションキーの設定です。使用するでファンクションコードを出力します。ASCIIコード表参照してください。

☐ 使用しない



☐ 使用する



【テンキー出力】

テンキーでの出力設定です。テンキー出力を必要とする場合はテンキーコードを使用してください。テンキーコード使用の際は Num Lock を ON にしてください。

☐ 英数コード



☐ テンキーコード



【Caps キー】

Caps キーの設定です。Off か On を選んでください。

☐ Off



☐ On



例 データ "ABCdef"

状態 設定	Caps Lock On	Caps Lock Off
On	ABCdef	abcDEF
Off	abcDEF	ABCdef

【終端データ】

データの終端に付加するデータを選んでください。

☐ Enter



☐ なし



☐ TAB



【キーボード】

キーボードの配置の設定です。使用しているパソコンのキーボードと同じ設定でお使いください。

☐ 米国 (US)



☐ 日本 (JP)





RS-232C インターフェース

【送信手順】

CTS: 送信可 (信号線)
RTS: 送信要求 (信号線)
STX: Start Of Text (ASCII Code 02₁₆)
ETX: End Of Text (ASCII Code 03₁₆)
Xon: Transmit On (ASCII Code 13₁₆)
Xoff: Transmit Off (ASCII Code 11₁₆)

無手順: ハンドシェイクを行わず TxD、RxD のみで通信します。

RTS/CTS: スキャナがホストへバーコード・データを送りたい場合、RTS 信号を最初に出し、ホストからの CTS の信号を待ちます。ホストから CTS 信号が来た後、データ通信を実行します。タイムアウト時間内にホストからの CTS がない場合、警告音を鳴らします。

Xon/Xoff: ソフトウェアフロー制御を行います。ホストから Xoff を受信したらデータの送信を停止し、Xon を受信したら送信を再開します。

無手順



RTS/CTS



Xon/Xoff



【ボーレート】

通信速度の設定です。

115200Bps



57600Bps



38400Bps



19200Bps



9600Bps



4800Bps



2400Bps



1200Bps



【パリティビット】

パリティビットの設定です。

なし



偶数 (Even)



奇数 (Odd)



Space



Mark



設定終了



設定開始



RS-232C インターフェイス

【データビット】

データ長の設定です。

7 ビット



8ビット



【ストップビット】

ストップビットの設定です。

1ビット



2 ビット



【ターミネータ】

none



CR/LF



CR



LF



TAB



STX/ETX



EOT



設定終了





3. 機能設定

【起動時の音】

起動時の音の設定です。スキャナに電源が入った時に音が鳴ります。音を鳴らさない場合は**音なし**を設定してください。

音なし



音あり



【ブザー音程】

ブザー設定: 読取確認音の設定です。読取りが成功した後にブザーが鳴ります。ブザー音は**音量**と**音程**、**発音時間**の設定で変更できます。

単音 (高音)



単音 (中音)



単音 (低音)



消音



トーン (高-低)



トーン (低-高)



【ブザー音量】

音量の設定です。

大



中



小



【ブザー発音時間】

発音時間の設定です。

5ms



20ms



50ms



100ms



200ms

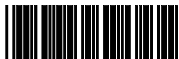


500ms



設定終了



設定開始		機能設定
【ブザー／LED タイミング】		
データ転送とブザー／LED タイミング関連の設定です。		
転送後		
転送前		
【読取確認】		
読取りの確認方法の設定です。(S/N:B9200001 以降のみ)		
LED+ブザー		
LED+バイブレーション		
LED+ブザー+バイブレーション		
【バイブレータ駆動時間】		
バイブレーションする時間の設定です。(S/N:B9200001 以降のみ)		
300m s		
500m s		
1000m s		
【読取モード】		
トリガー:スイッチで読取りを開始します。データを読取った後、LED をオフにします。		
紙面検知:スイッチの状態に関係なく、常時読取ります。データをかざしていない場合、光源が消えます。光源が消えた状態からデータを感知します。同一バーコードは同一コード読取の設定により設定出来ます。		
パルス:スイッチの状態に関係なく、常時読取ります。データをかざしていない場合、光源が点滅します。同じデータでも読取ります。同一バーコードは同一コード読取の設定により設定出来ます。		
オルタネート: スイッチを押すと読取ります。スイッチをもう 1 度押すと読取り終了です。		
モーメンタリ:スイッチを押している間、読取ります。		
トリガー		
紙面検知		
パルス		
オルタネート		
モーメンタリ		
【文字列遅延】		
連続したデータ間の遅延時間を設定します。		
0ms		
100ms		
設定終了		

設定開始



機能設定

500ms



1000ms



【文字間遅延】

連続した文字列間の遅延時間を設定します。

0ms



5ms



10ms



20ms



50ms



2ms



【同一コード読取】

同一バーコードの読取を設定します。

50ms



100ms



200ms



300ms



400ms



500ms



600ms



700ms



800ms



900ms



1000ms



無限



設定終了



設定開始



JAN/EAN/UPC

設定終了





4. シンボル設定

JAN/EAN/UPC

【JAN/EAN/UPC の読取】

JAN/EAN/UPC 読取らない



JAN/EAN/UPC読取る



UPC-A 読取る



UPC-E 読取る



JAN-13 読取る



JAN-8 読取る



UPC-E を UPC-A 形式にする



UPC-EをUPC-A形式にしない



UPC-A を JAN-13 形式にする



UPC-AをJAN-13形式にしない



JAN-8 を JAN-13 形式にする



JAN-8をJAN-13形式にしない



EAN-13 の最初が 0 の場合出力する



EAN-13の最初が0の場合出力しない



EAN-13 の最初が 0 の ID は UPC-A



EAN-13の最初が0のIDはEAN-13



UPC-A の照合チェックしない



UPC-Aの照合チェック 1 回



UPC-A の照合チェック 2 回



UPC-A の照合チェック 3 回



UPC-E の照合チェックしない



UPC-Eの照合チェック 1 回



設定終了



設定開始



JAN/EAN/UPC

UPC-E の照合チェック 2 回



UPC-E の照合チェック 3 回



JAN-13 の照合チェックしない



JAN-13の照合チェック 1 回



JAN-13 の照合チェック 2 回



JAN-13 の照合チェック 3 回



JAN-8 の照合チェックしない



JAN-8の照合チェック 1 回



JAN-8 の照合チェック 2 回



JAN-8 の照合チェック 3 回



【補足コードの読取】

WPC コードの後に 2 桁および 5 桁の補足コードを読取る設定です。

読取らない



5 桁読取



2 桁読取



2 桁と 5 桁読取



補足コード分割して読取る



補足コード分割して読取らない



補足コードが無くても読取る



補足コードが無いと読取らない



【ISBN/ISSN 変換】

ISBN(International Standard Book Number)と ISSN(International Standard Serial Number)は、本や雑誌に利用されている 2 種類のバーコードです。ISBN は EAN-13 の形式にて“978”に続く 10 文字のデータとなり、ISSN は“977”に続く 8 文字のデータ となります。

これら各コードに対応したデータ部分のみを通知させたい場合には、**変換する**を設定してください。

変換しない



変換する



設定終了



設定開始
【チェックデジット】
チェックデジット出力の設定です。



JAN/EAN/UPC

UPC-A出力する



UPC-A 出力しない



UPC-E出力する



UPC-E 出力しない



JAN-13出力する



JAN-13 出力しない



JAN-8出力する



JAN-8 出力しない



設定終了



**CODE39****【CODE39 の読取】**

読取らない

**読取る**

照合チェックしない

**照合チェック 1 回**

照合チェック 2 回



照合チェック 3 回

**【形式】**

CODE39 で **Full ASCII** を表す設定です。**Full ASCII** で出力するには“.”、“-”、スペース、数字、A-Z 以外のデータを“+”、“%”、“\$”、“/”で始まる 2 桁で表します。

標準

Full ASCII

**【スタート/ストップ出力】**

スタート/ストップキャラクタ出力の設定です。

出力しない

出力する

**【チェックデジットの確認】**

チェックデジットを確認する設定です。**チェックして出力する**、**チェックして出力しない**を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。

チェックしない

チェックして出力する



チェックして出力しない

**【コード長設定】**

最大、最小コード長: データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

最小コード長

(指定範囲:03₁₀-62₁₀)

最大コード長

(指定範囲:03₁₀-62₁₀)

設定終了



**Inter leaved2of5****【Interleaved2of5 の読取】**

読取らない

**読取る**

照合チェックしない

**照合チェック 1 回**

照合チェック 2 回



照合チェック 3 回

**【チェックデジットの確認】**

チェックデジットを確認する設定です。チェックして出力する、チェックして出力しないを指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取れません。

チェックしない

チェックして出力する



チェックして出力しない

**【コード長設定】**

最大、最小コード長: データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。Interleaved 2 of 5 はデータの特徴によりデータの誤読取りし易いので、コード長が決まっている場合は**最大、最小コード長**で設定する事をお勧めします。設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

最小コード長

(指定範囲:06₁₀-56₁₀)

最大コード長

(指定範囲:06₁₀-56₁₀)

**Codabar/NW-7****【Codabar/NW-7 の読取】**

読取らない

**読取る**

照合チェックしない

**照合チェック 1 回**

照合チェック 2 回



照合チェック 3 回

**【スタート・ストップコード】**

スタート・ストップコードの設定です。

ABCD/ABCD

出力しない



DC1~DC4



abcd/tn*e

**【チェックデジットの確認】**

チェックデジットを確認する設定です。チェックするを指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックデジットはモジュラス 16 を使用しています。

チェックしない

チェックして出力する



チェックして出力しない

**【コード長設定】****最大、最小コード長:**データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

最小コード長

(指定範囲:06₁₀~32₁₀)

最大コード長

(指定範囲:06₁₀~32₁₀)

設定終了



**CODE128****【CODE128 の読取】**

読取らない

**読取る**

照合チェックしない

**照合チェック 1 回**

照合チェック 2 回



照合チェック 3 回

**【形式】**

出力形式の設定です。CODE128 は **GS1-128** を設定する事で GS1-128 で出力できます。GS1-128 は FNC1"J" C1" から <GS>(7F₁₆) までが一まとめとなります。

J	C1	データ	<GS>	データ	C/D
---	----	-----	------	-----	-----

標準

GS1-128

**【チェックデジットの確認】**

チェックデジットを確認する設定です。**チェックする**を指定するとチェックデジットが正しくないデータは読取りません。尚、チェックキャラクタはデータとして出力しません。

チェックしない

**チェックする****【コード長設定】**

最大、最小コード長: データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

最小コード長

(指定範囲:03₁₀-56₁₀)

最大コード長

(指定範囲:03₁₀-56₁₀)

設定終了



**CODE93****【CODE93 の読取】****読取らない**

読取る



照合チェックしない

**照合チェック 1 回**

照合チェック 2 回



照合チェック 3 回

**【チェックデジットの確認】**

チェックデジットの確認の設定です。通常チェックデジットは 2 桁付加されています。

チェックしない



チェックして出力する

**チェックして出力しない****【コード長設定】****最大、最小コード長:**データの長さを指定する設定です。最大、最小コード長の範囲のデータだけを読取ります。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

最小コード長

(指定範囲:03₁₀-32₁₀)

最大コード長

(指定範囲:03₁₀-32₁₀)

設定開始



GS1 DataBar

GS1 DataBar

【GS1 DataBar Omnidirectional】

読取らない



読取る



【チェックデジット】

チェックデジット出力の設定です。

出力しない



出力する



【AI 転送】

アプリケーション識別子転送の設定です。

転送しない



転送する



【GS1-128 emulation】

GS1-128 エミュレートの設定です。

エミュレートしない



エミュレートする



【GS1 DataBar Limited】

読取らない



読取る



【チェックデジット】

チェックデジット出力の設定です。

出力しない



出力する



【AI 転送】

アプリケーション識別子転送の設定です。

転送しない



転送する



設定終了



設定開始
【GS1 DataBar Expanded】

☐ 読取らない

☐ 読取る

【チェックデジット】

チェックデジット出力の設定です。

☐ 出力しない

☐ 出力する

【AI 転送】

アプリケーション識別子転送の設定です。

☐ 転送しない

☐ 転送する

【GS1-128 エミュレート】

GS1-128 エミュレートの設定です。

☐ しない

☐ する



GS1 DataBar



設定終了





5. データ編集

プレアンブル/ポストアンブル

【プレアンブルデータ】

プレアンブルデータ: 読込んだバーコードデータのヘッダーとして、文字列を先頭に付加させたい場合はプレアンブルを設定してください。

プレアンブルで出力したいコードを ASCII コードで設定します。設定されたデータは、読込まれたバーコードデータの先頭に付加されます。

文字カットは設定した文字数だけ出力しません。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

設定



(指定範囲:00₁₆-FF₁₆ ASCII Code)

文字カット



(指定範囲:00₁₆-FF₁₆ ASCII Code)

【ポストアンブルデータ】

ポストアンブルデータ: 読込んだバーコードデータのフッターとして、文字列を終端に付加させたい場合は、ポストアンブルを設定してください。

ポストアンブルで出力したいコードを ASCII コードで設定します。設定されたデータは、読込まれたバーコードデータの末尾に付加されます。

文字カットは設定した文字数だけ出力しません。

設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

設定



(指定範囲:00₁₆-FF₁₆ ASCII Code)

文字カット



(指定範囲:00₁₆-FF₁₆ ASCII Code)





CodeID 設定他

【Code ID】

バーコード種別	Code ID (初期値)
UPC-A	A
UPC-E	E
JAN-13	F
JAN-8	FF
CODE39	M
Interleaved2of5	I
Codabar/NW-7	N
CODE128	K
CODE93	L
GS1 DataBar Omnidirectional	RS
GS1 DataBar Limited	RL
GS1 DataBar Expanded	RX

Code ID を出力する場合にはを設定してください。

☐ 付加しない



☐ 付加する



下記で個別のIDを設定可能です。
設定方法は1ページ「設定方法」の(5)をご参照ください。

UPC-E ID 設定



UPC-A ID 設定



JAN-13 ID 設定



JAN-8 ID 設定



CODE39 ID 設定



Interleaved2of5 ID 設定



Codabar/NW-7 ID 設定



CODE128 ID 設定



CODE93 ID 設定



GS1 DataBar Omnidirectional ID 設定



GS1 DataBar Limited ID 設定



GS1 DataBar Expanded ID 設定



設定終了



設定開始



データ編集

【桁数】

読込んだデータの桁数を出力するには**出力する**を選択してください。桁数はデータの前に付加されます。

出力する



出力しない



設定終了





6. GS1-128 特殊設定

データ出力 1

読取ったデータのAIを省き、データ(数量等)にヘッダ、フッタを付け、任意の順番で並べ替えます。

ex.AI11、421、3102 の順に並べ替え AI11 のヘッダに((フッタに))、421 のヘッダに<<フッタに>>、3102 のヘッダに[[フッタに]]を付けて出力します。

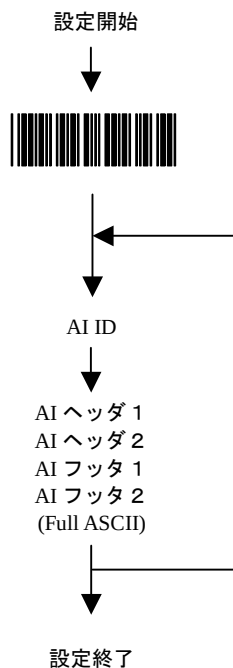
読取データ

(421)AB012(3102)012345(11)000700

出力データ

((000700))<<AB012>>[[0123.45]]

設定方法



設定開始より順に読取ってください。

AI ID は57ページ Full ASCII は48ページを参照してください。

設定出来る AI は10種類です。また、AI は設定順に並びます。

ヘッダ、フッタの設定で設定しない場合は NUL を設定してください。(必ずヘッダ、フッタ合せて4データ分入力して下さい)

上記 ex. の設定の場合

設定開始
バーコード
AI 11
ヘッダ(
ヘッダ(
フッタ)
フッタ)
AI 421
ヘッダ<
ヘッダ<
フッタ>
フッタ>
AI 3102
ヘッダ[
ヘッダ[
フッタ]
フッタ]
設定終了

データ出力 2

AI に括弧を付け出力します。

ex.出力例。

読取データ

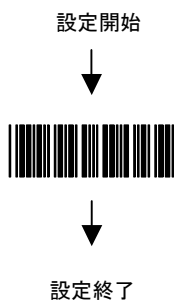
(421)AB012(3102)012345(11)000700

出力データ

(421)AB012(3102)012345(11)000700

()は通常の GS1-128 では出力されません。

設定方法



設定終了





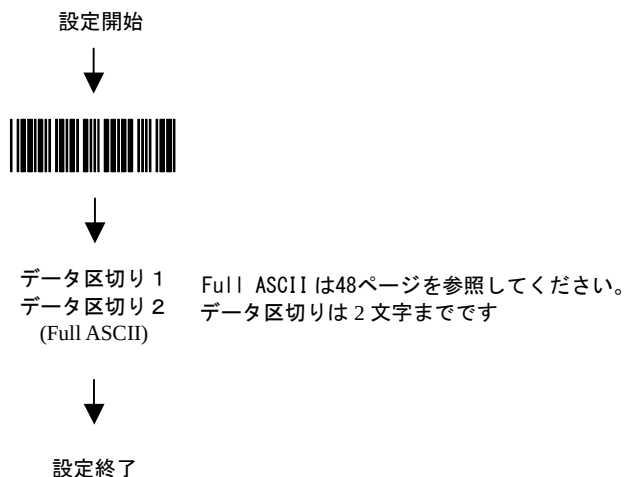
データ出力 3

読取データから AI 以外のデータを設定した出力形式で出力します。

ex.カンマ区切りで出力します。

読取データ	(421)AB012(3102)012345(11)000700
出力データ	AB012,0123.45,000700

設定方法



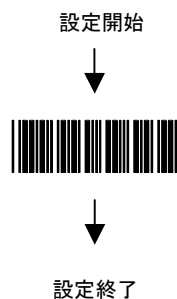
データ出力 4

GS1-128 の最初の FNC1 を]C1、以降の FNC1(可変データの終端)を GS(1DH)【RS-232C インターフェース】・ctrl+【キーボード/USB インターフェース】にし、出力します。

ex.AI421 が可変データです

読取データ	(421)AB012(3102)012345(11)000700
出力データ	]C1421AB012GS3102012345611000700

設定方法





データ出力 5

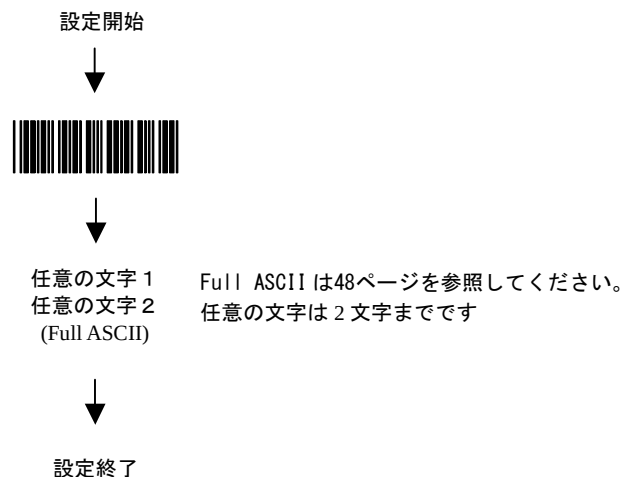
GS1-128 の 2 つ目以降の FNC1 を任意の文字に変更します。

ex.FNC1 を#に変更します。

読取データ
出力データ

(421)AB012(3102)012345(11)000700
AB012#0123.45000700

設定方法



その他の設定

GS1-128 出力モードを使用しない



CODE128 を GS1-128 に変換エラー時、何も出力しない



CODE128 を GS1-128 に変換エラー時、CODE128 として出力する



出力形式 1 の時、設定した AI が無かった場合ヘッダ、フッタ、セパレータを出力する



出力形式 1 の時設定した AI が無かった場合ヘッダ、フッタ、セパレータを出力しない



GS1-128 の日付 YYMMDD の DD をそのまま出力する



GS1-128 の日付 YYMMDD の DD が 00 の場合は DD を出力しない。



データ区切り後送信ディレイ 0ms



データ区切り後送信ディレイ 10ms



データ区切り後送信ディレイ 20ms



設定終了



設定開始



GS1-128 特殊設定

データ区切り後送信ディレイ 30ms



データ区切り後送信ディレイ倍率 1 倍



データ区切り後送信ディレイ倍率 4 倍



データ区切り後送信ディレイ倍率 16 倍



データ区切り後送信ディレイ倍率 64 倍



データセパレータを設定する (Full ASCII)



エレメントストリングセパレータを設定する (Full ASCII)



可変長データ終端の FNC1 を設定する (Full ASCII)



各出力モードの付加キャラクタの設定内容を表示する



GS1-128 先頭を]C1



GS1-128 先頭の]C1 を出力しない



設定終了



7. ASCIIコード

HEX	ASCII/Keyboard	CODE39
00	NUL	
01	SOH/Ins	
02	STX/Del	
03	ETX/Home	
04	EOT/End	
05	ENQ/↑	
06	ACK/↓	
07	BEL/←	
08	BS/BackSpace	
09	HT/Tab	
0A	LF/Enter	
0B	VT/→	
0C	FF/PgUp	
0D	CR/num Enter	
0E	SO/PgDn	
0F	SI/Shift	
10	DLE/num 5	
11	DC1/F1	
12	DC2/F2	
13	DC3/F3	
14	DC4/F4	
15	NAK/F5	
16	SYN/F6	
保存		

17	ETB/F7	
18	CAN/F8	
19	EN/F9	
1A	SUB/F10	
1B	ESC/F11	
1C	FS/F12	
1D	GS/ESC	
1E	RS/CTL (L)	
1F	US/ALT (L)	
20	SP	
21	!	
22	“	
23	#	
24	\$	
25	%	
26	&	
27	‘	
28	(	
29	)	
2A	*	
2B	+	
2C	,	
2D	-	
2E	.	
保存		

2F	/	
30	0	
31	1	
32	2	
33	3	
34	4	
35	5	
36	6	
37	7	
38	8	
39	9	
3A	:	
3B	;	
3C	<	
3D	=	
3E	>	
3F	?	
40	@	
41	A	
42	B	
43	C	
44	D	
45	E	
46	F	
保存		

47	G	
48	H	
49	I	
4A	J	
4B	K	
4C	L	
4D	M	
4E	N	
4F	O	
50	P	
51	Q	
52	R	
53	S	
54	T	
55	U	
56	V	
57	W	
58	X	
59	Y	
5A	Z	
5B	[	
5C	¥	
5D	]	
5E	^	
保存		

5F	—	
60	‘	
61	a	
62	b	
63	c	
64	d	
65	e	
66	f	
67	g	
68	h	
69	I	
6A	j	
6B	k	
6C	l	
6D	m	
6E	n	
6F	o	
70	p	
71	q	
72	r	
73	s	
74	t	
75	u	
76	v	
保存		

77	w	
78	x	
79	y	
7A	z	
7B	{	
7C		
7D	}	
7E	~	
7F	DEL	



8. AI ID

AI

バーコード

00



01



02



10



11



12



13



15



17



20



21



22



23L



240



241



250



251



30



310D



311D



312D



313D

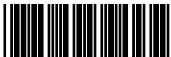


314D



315D	
316D	
320D	
321D	
322D	
323D	
324D	
325D	
326D	
327D	
328D	
329D	
330D	
331D	
332D	
333D	
334D	
335D	
336D	
337D	
340D	
341D	
342D	
343D	

344D	
345D	
346D	
347D	
348D	
349D	
350D	
351D	
352D	
353D	
354D	
355D	
356D	
357D	
360D	
361D	
362D	
363D	
364D	
365D	
366D	
367D	
368D	
369D	

37	
390D	
391D	
392D	
393D	
400	
401	
402	
403	

アイメックス 株式会社

〒146-0094

東京都大田区東矢口 2-4-14

TEL:03(3750)0511

FAX:03(3756)0611

URL:<http://www.aimex.co.jp/>

E-Mail:sales@aimex.co.jp

BW9000:M-2-120101